



平成29年4月26日

各 位

上場会社名 ニホンフラッシュ株式会社
 代表者 代表取締役社長 高橋 栄二
 (コード番号 7820)
 問合せ先責任者 取締役管理統括部長 庄野 淳
 (TEL 0885-32-3431)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年4月28日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,000	3,340	3,080	2,253	179.83
今回修正予想(B)	17,820	2,750	2,650	1,920	153.25
増減額(B-A)	△2,180	△590	△430	△333	
増減率(%)	△10.9	△17.7	△14.0	△14.8	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	17,953	3,023	2,777	2,048	166.43

修正の理由

国内の住宅市場では、住宅ローンの超低金利を背景とした住宅取得に対する動きは、活発に推移し、賃貸住宅市場においても、都市部を中心に相続税改正に伴う底堅い建築需要が継続しましたが、熊本や鳥取地震をはじめ、東北地方の記録的な大雨など、自然災害の発生による建築現場の納入遅延などが相次ぎました。一方、中国においては、北京、上海、深セン等、一級都市をはじめとして住宅価格の高騰が継続したことから、現地の大手有力デベロッパーは年度目標を早期に達成し、販売を翌期以降へ先送りする動きが見られました。このため、当社においても、本来第3四半期(中国は7月、8月、9月)は繁忙期であるにも拘らず、同期間の前年度の売上額約3,400百万円に対し、当年度は約2,400百万円(約30%減)と減少し次年度以降への持ち越しとなりました。加えて、当初の想定以上の円高は、業績にマイナスの影響(約15%のマイナス)を与える結果となりました。これらの要因により、上記の通り、当初発表予想を下回ることとなりました。

なお、当社の期末配当は、平成28年4月28日の公表どおり、1株につき20円の配当(20円の間配当金とあわせ年間40円)を予定しております。

※上記に記載した業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上